

アスパラガス栽培管理(R6.1.)

(有) 丸 富

12月は徐々に冷え込んできたものの、日中は暖かい日が多かった。中旬以降、急に冷え込んだが、例年より高温傾向で推移したため、低温遭遇時間はかなり少なかった。

全刈り

茎葉の養分を地下茎に貯蔵し、根の糖度が20度くらいまで上がったなら、全刈りを行う。貯蔵養分が根に蓄積される前に全刈りを行うと、春芽の収穫に悪影響を及ぼす。

ガスバーナー焼却(病害虫対策)

病害虫を高温で殺虫殺菌すると、ハウス内の病害虫をしばらく抑えることが出来る。ガスバーナーによる焼却で病害虫の密度を下げることで、保温開始後(萌芽後)の病害虫の発生を軽減する。

土づくり

アスパラガスづくりは土づくりで決まる！と言っても過言ではないが、作物が土から吸収した養分を、毎年土に戻すだけで良い。アスパラガスは一部の偏った多量養分だけで生長しているのではなく、沢山の微量養分で形作られている。そのため、数多くの微量養分を少しずつ施す必要がある。

低温要求量

ビニールハウス内は比較的高温になるので、低温遭遇時間が少なく、低温要求量を満たさないことが多くなっている。大きく換気を行い、ハウス内を出来る限り冷やして低温遭遇時間を増やすよう心がける。

病害対策

欠株になって、残っている根株は取り除く。出来る限り、アレロパシ物質を除去する。

欠株を取り除き、掘り起こした土にハイプロを10%混ぜて、埋め戻す。その土に酸カル500倍とサンミネーラ5,000倍を散布する。

追肥(液肥)

土壌環境、並びに年数、根の働きによっても増減する。

プロ液肥	0.5~1ℓ/10a
時を越えた贈り物	100~200cc/10a
サンミネーラ	50cc/10a
バイオアクトTS(又はストップ-雅)	50cc(100cc)/10a

5~10日ごとに灌水する場合

※収穫量や土壌条件、天候によって加減する。

※サンミネーラの代わりにシカアップ 100~150cc、天然ミネラル 100~200cc、海藻のエキス 50gでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 0942-65-0123 (TEL)

FAX 0942-65-1091 (24時間受付) 携帯 090-3328-7603 (富松まで)